

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立春日出中学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の自己評価結果の総括は妥当である。
目標を達成できなかったところもあったが、生徒が安心して安全な学校生活を送りながら、未来を切り拓く学力・体力を身につけられるように、指導方法の改善を行ったり、様々な取り組みの工夫を行っていた。また、教育環境の充実の実現に向けて、ICTの活用の取り組みも行っていた。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：「安全・安心な教育の推進」に関する項目において

- 達成状況の評価に関しては妥当である。
- 「安全・安心な教育の推進」における取り組みに対しての学校アンケートにおいて、昨年度よりも数値が低い値を示しているものが多かったが、依然、高い割合を保っており高く評価する。
- 特に学校アンケートの「清掃活動に積極的に参加している」や「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合が昨年度に引き続き95%を超える高い割合であったことは高く評価する。
- 不登校生に対する多様な学びの実現に向けた様々な取り組みに対しても高く評価する。

年度目標：「未来を切り拓く学力・体力の向上」に関する項目において

- 達成状況の評価に関しては妥当である。
- 学校アンケートの「学習している内容がわかる、理解しやすい授業だ」に対して、肯定的に回答する生徒の割合が昨年度よりも減少しているが、依然、高い割合を示していることを高く評価する。今後、分かりやすさと定着した学力が結びつくような工夫を望む。
- 英語については、基礎基本が定着していない生徒が多いため、継続して小テストを行い到達度を明確にしたり、授業と家庭学習を結び付けての反復学習を行ったりする必要がある。

年度目標：「学びを支える教育環境の充実」に関する項目において

- 達成状況の評価に関しては妥当である。
- ICT活用時間については、昨年度に比べ大幅に増加していることを高く評価する。
- 時間外勤務時間が昨年度よりも上昇しているが、他校と比較しても大幅に少ないことや、ゆとりの日を計画的に確保できる体制を整えていることを高く評価する。
- 今後もICTを活用しながら、教職員がワーク・ライフバランスを大切にし、子どもたちの教育に全力を注げる環境を整えることを望む。

3 今後の学校園の運営についての意見

来年度も継続して研修を充実させたり、他校の実践を活用するなどして、生徒たちが安心・安全な学校生活を送りながら、未来をたくましく生き抜く学力・体力を身につけられる学校運営を期待する。